



参加者に質問する丸山さん

3/24 三戸町看取りの講演会

自分と家族の「最期」を考える

自分や家族の人生の最期をどのように過ごし、どこで迎えるかなどを考える機会として「三戸町看取りの講演会」が中央公民館ホールで行われました。講演会には、見守りボランティアであるほのぼの交流協力員など 53 人が参加。「自分の最期を考える」をテーマとして、株式会社絵夢プランニング代表取締役で看護師の丸山康子さんを講師に招き行われました。

丸山さんは「最期を迎えたい場所は、自分自身で選べます。自分の最期をどのように迎えたいか考え、また家族がどのような最期を迎えたいか聞いてみてほしい」と参加者に呼びかけました。参加者は「看取りは、本人の意思を尊重することが大切だと学びました。家族の意思も聞き、今後に備えていきたい」と感想を話しました。

3/29 中村哲美さんが町に写真集を寄贈

歩ける限り、写真を撮り続けたい

三戸シャッタークラブ顧問である中村哲美さん（86 歳）が非売品の写真集を町に寄贈しました。中村さんは、50 年以上写真を撮り続け、選び抜いた写真を 91 ページにおよぶ写真集として 50 冊作成し、関係者に配布しました。写真は、デジタルで撮影したものは少なく、補正もしていないといいます。

中村さんは「誰も写していない場所を撮ることを心掛けています。歩けるうちは、これからも写真を撮り続けていきたい」と話し、松尾和彦町長に写真集を手渡しました。この写真集は、販売はしておらず、町立図書館で見ることができます。



(左から) 松尾町長、中村さん

4/5 交通死亡事故ゼロ 900 日表彰

県警本部から感謝状を寄贈



小田桐部長（左）、山田さん（中央）、山本さん（左から2番目）

青森県警は、三戸町内の交通死亡事故ゼロ 900 日を達成したことから、三戸町交通安全対策協議会（山田将之会長）と三戸町交通安全母の会連合会（山本奈津子会長）の功績を称えました。役場で行われた表彰式では、県警本部の小田桐勝行交通部長が両会長に感謝状などを授与しました。

山田会長は「今回の記録は、町民の協力のおかげで達成できたと思います。これからも交通安全運動を広められるよう呼びかけていきたい」と話しました。山本会長は「一人ひとりが、日々気をつけて運転してくれているのだと感じました。事故が起こる前に、周りの人同士で声かけをしてほしい」と呼びかけました。

3/15 三戸町いきいき百歳体操実践者表彰

体操を続けて、健康な体を保ちます

三戸町いきいき百歳体操実践者表彰は、90歳以上で、月1回以上かつ半年以上継続して「いきいき百歳体操」を実践している人を対象に表彰しています。今年度は、城南地区「通いの場」に参加している丹野恵子さん（90歳）が松尾和彦町長から表彰状を受け取りました。

いつも穏やかで、すてきな笑顔を見せてくれる丹野さんは、歩くことが元気の秘けつで「通いの場」参加者のお手本になっています。



（左から）丹野さん、松尾町長



（左から）山本会長、慶長教育長

3/29 三戸ライオンズクラブが図書カードを寄贈

子どもたちの教育に図書カードを役立てて

三戸ライオンズクラブ（山本真^{まこと}会長）は、町内の1年生のために図書カード52枚を寄贈しました。この活動は、今年で6回目となります。山本会長は「子どもたちが読みたい本を読むことで、読解力の向上や新たな発見のきっかけになってほしい」と願いを込め、

慶長隆光教育長に図書カードを手渡しました。慶長教育長は「読書が好きな多くの子どもたちのため、有効に活用します」とお礼の言葉を述べました。

4/4 第2回慶長教育長杯子供囲碁大会

練習の成果を試す真剣勝負！

三戸町・田子町の参加を希望する子どもたちを対象に、第2回慶長教育長杯子供囲碁大会が中央公民館で行われました。大会では、Aクラス（15級以上）参加者10人とBクラス（20級～16級）参加者12人に分かれて対局が行われました。Aクラスでは長根優2段（小中一貫三戸学園三戸中9年）、Bクラスでは坂本実唯菜15級（小中一貫三戸学園三戸小4年）が優勝を勝ち取りました。Aクラスで優勝した長根2段は「小学生の頃から囲碁を楽しく続けてきました。優勝できてとても嬉しいです。これからも続けていきたい」と笑顔で話しました。



真剣に対局する子どもたち



（左から）関向会長、慶長教育長

4/4 町社協が図書カードを寄贈

本を通して、多くを学んでほしい

社会福祉法人三戸町社会福祉協議会（関向文男会長）は、町内の小・中学校に入学する1年生50人と7年生66人のために図書カードを寄贈しました。この取り組みは今年度が初で、昨年の赤い羽根共同募金期間に行った企画「11ぴきのねこピンバッジ募金」で集まった寄付金を使って実施しました。関向会長は「好きな本を買って喜んでもらえると嬉しい。今後もこの活動を続けていきたいです」と話し、慶長隆光教育長に図書カードを手渡しました。慶長教育長は「子どもたちには、本を通してさまざまなことを学んでほしい」と話しました。